



2020年10月30日

各 位

会社名 ペガサスミシン製造株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 美馬成望
(コード番号：6262 東証第一部)
問合せ先 常務取締役執行役員管理本部長 吉田泰三
(TEL. 06-6451-1351)

業績予想の公表及び剰余金の配当（中間配当無配）に関するお知らせ

2020年5月14日に公表いたしました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において、未定としておりました2021年3月期の通期連結業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

また、当社は本日開催の取締役会において、2020年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）について、下記のとおり無配とすることを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の公表について

(1) 2021年3月期連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	11,000	△160	△80	△520	△20.96
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	14,969	499	484	△206	△8.31

(2) 業績予想公表の理由

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、不確定な要素が多く、影響額について見極めることが非常に困難なため、未定としておりましたが、現時点で入手可能な情報や足元の業績推移に基づき算定し、通期の連結業績予想を公表することといたしました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を合理的に予測することは困難であることから、今回の業績予想においてはWithコロナの社会・経済活動が今後も世界的に継続するという一定の仮定をおいて算定を行いました。

※上記の業績予想等は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、不確定な要素を含んでおりますので、実際の業績等は予想と異なる場合があります。

2. 剰余金の配当の内容

(1) 剰余金の配当（中間配当）

	決 定 額	直近の配当予想 (2020年5月14日公表)	前期実績 (2020年3月期)
基 準 日	2020年9月30日	同左	2019年9月30日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	13円00銭
配当金総額	—	—	322,538千円
効力発生日	—	—	2019年11月25日
配当原資	—	—	利益剰余金

(2) 配当決定の理由

当社は、健全な財務基盤を維持しながら、配当性向30%を目安に、一時的な資本政策ではなく、長期的な視野で、成長投資と株主還元のバランスを考え、企業価値向上を図っていくことを基本方針としております。中間配当については、第2四半期累計期間における業績及び通期業績見通し等を総合的に勘案し、配当の実施を決定することとしております。この基本方針を踏まえ慎重に検討した結果、誠に遺憾ではありますが、2020年9月30日を基準日とする中間配当を無配とさせていただくことになりました。また、新型コロナウイルス感染症による今後の事業環境に与える影響は依然として不透明であるため、2021年3月期の期末配当については、引き続き未定とさせていただきます。

当社グループでは、新型コロナウイルスの影響長期化に備えたインサイドセールスの構築、国内外の生産拠点が一体となった迅速な生産調整、一時帰休を含めた経費削減を図るなど、様々な構造改革に着手しております。下半期におきましては、グループ在庫削減、新販売体制確立、既存製品改良、経費削減に引き続き取り組めます。また、コロナ終息後のマーケット正常化を展望し、サプライチェーンマネジメント、新製品開発、人材育成等の強化に加え、ダイカスト部門では受注拡大に備えた設備投資も計画しており、将来へ向けた施策にも注力してまいります。さらに、役員の上半期賞与に関しては、前年度下半期賞与に続き全額カットとし、月額報酬につきましては、2020年11月度より5%~15%のカットを実施いたします。

株主、投資家の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、早期の業績回復に努めてまいりますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

《ご参考》年間配当の内訳

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	通期
当 期 実 績	0円00銭	未定	未定
前期実績(2020年3月期)	13円00銭	7円00銭	20円00銭

以 上